

前回審査会（令和 7 年 8 月 29 日）における指摘事項並びに事業予定者及び事務局の見解

番号	指 摘 事 項	事 業 予 定 者 の 見 解
大気質、騒音		
1	大気質及び騒音の評価方法に「ルート帯が通過する集落・市街地（人口集中地区（DID））の面積の大小」を用いておられ、これは一つの手法として良いと思っております。しかし、一般的に、運転中は上り坂では加速するので、騒音・排ガス量が増加します。 3 ルートにおいて、通過する集落・市街地エリアと計画道路の平たん・上り坂との関係を考慮せずに、上り坂の道路のエリアと平たんな道路のエリアが混在するであろう部分において、単純に面積の大小で比較してもよいのでしょうか。（市野委員）	現時点では、詳細なルートの位置及び道路構造等（IC・JCT 位置や縦断勾配を含む）は、未定です。 このため、配慮書段階の検討においては、集落・市街地等の位置（人口集中地区(DID 地区)）と複数案との位置関係を把握し、回避又は通過の状況を整理・比較することにより予測及び評価を行いました。
動物		
2	事業実施想定区域は水田地帯が多いが、水田を利用する鳥類の種と沿岸部を利用する種は異なる。事業実施想定区域周辺に生息している鳥類の種類をどの程度把握しているか。文献調査の結果で構わないので、リストなどがあれば何に配慮すべきかが見えてくるのではないかと思います。（北村委員）	文献調査により、事業実施想定区域及びその周囲で確認記録のある鳥類リストを別添資料に示します（別添 1）。
	現地視察において、愛知県弥富野鳥園が野鳥の調査を行っていることを知った。 これらの調査結果の提供をお願いしたい。（庄子委員）	<事務局の見解> 愛知県弥富野鳥園では、野鳥のポイントセンサス調査及び標識調査を実施しており、当該調査結果を WEB で公開しています。 令和 5 年度の記録は別添 2 のとおりです。 URL : https://www.aichi-park.or.jp/yachou/data.html

番号	指 摘 事 項	事 業 予 定 者 の 見 解
その他		
3	計画段階配慮事項の評価が「大きい、小さい」と定性的な記述になっているが、例えば、案の1では70%が損失し、案の2では50%が損失するなど定量的に示すことはできないか。点の数や面積を比較しているのに、評価が「大きい、小さい」という漠然とした整理なので議論することが難しい。（渡邊委員）	道路事業において、配慮書段階では、地域特性の把握は既存資料調査によるものであるとともに、詳細なルートの位置や道路構造等については検討段階であるため、定量的な評価は困難です。 このため、配慮書段階においては、複数案の比較において定性的な表現を用いて評価を行っています。 なお、定性評価の際の参考とした各ルート帯案が通過する検討対象の地点数・面積を別添資料に示します（別添3）。

文献調査により事業実施想定区域及びその周囲で確認記録のある鳥類

No.	目名	科名	種名	既存文献						重要な種の選定基準											
				①	②	③	④	⑤	⑥	1	2	3	4	5	6	7			8	9	
																越冬	繁殖	通過			
1	キジ	キジ	コジュケイ		●	●	●														
2			ヤマドリ		●			●										NT	NT		
3			キジ		●	●	●														
4	カモ	カモ	コブハクチョウ				●														
5			コハクチョウ			●															
6			オシドリ				●								DD		NT		NT	繁殖:EN 越冬:NT	
7			オカヨシガモ			●															
8			ヨシガモ			●															
9			ヒドリガモ			●															
10			マガモ		●	●	●														
11			カルガモ		●	●	●														
12			ハシビロガモ			●															
13			オナガガモ			●															
14			トモエガモ			●															
15			コガモ			●										VU	VU			EN	
16			ホシハジロ			●															
17			キンクロハジロ			●															
18			スズガモ			●															
19			ホオジロガモ			●															
20			ミコアイサ			●															
21			カワアイサ			●															
22			カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ		●	●	●									NT			NT
23					アカエリカイツブリ			●								EN					
24					カンムリカイツブリ			●	●												
25	ミミカイツブリ					●															
26	ハジロカイツブリ					●															
27	ハト	ハト	カワラバト（ドバト）		●	●	●														
28			キジバト		●	●	●														
29			アオバト				●											DD			
30	カツオドリ	ウ	カワウ			●	●														
31			ウミウ			●															
32	ペリカン	サギ	ヨシゴイ		●			●							NT		CR	CR	VU	NT	
33			ゴイサギ		●	●	●														
34			ササゴイ				●		●											VU	
35			アマサギ		●		●														
36			アオサギ		●	●	●														
37			ダイサギ		●	●	●														
38			チュウサギ		●	●	●			●						NT				VU	
39			コサギ		●	●	●														
40	ツル	クイナ	クイナ						●							NT				NT	
41			ヒクイナ		●		●		●					NT		NT	NT	VU	VU		
42			バン		●	●	●								NT	VU					
43			オオバン			●	●														
44	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				●										VU	NT			
45			ホトトギス		●		●														
46			ツツドリ		●													VU	NT		
47			カッコウ		●		●											VU	NT		
48	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ		●		●							NT		EN	VU	NT	NT	DD	
49	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ				●														
50	チドリ	チドリ	タゲリ			●			●											NT	
51			ケリ		●	●	●								DD						
52			ムナグロ			●															
53			ダイゼン			●											LP				
54			イカルチドリ		●	●	●										NT	VU		VU	
55			コチドリ		●	●	●			●										NT	
56			シロチドリ		●	●	●	●	●						指定	VU	VU	VU		NT	繁殖:CR 越冬:NT
57			ミヤコドリ	ミヤコドリ						●											NT
58			セイタカシギ シギ	セイタカシギ				●		●						VU	VU	EN			CR
59				タシギ			●														
60	ダイシャクシギ				●				●							VU			VU		
61	ホウロクシギ								●						VU			EN	NT		
62	アカアシシギ								●						VU			VU	VU		
63	コアオアシシギ								●										VU		
64	アオアシシギ				●																
65	クサシギ				●																
66	タカブシギ				●										VU			EN			
67	イソシギ			●	●	●															
68	ミユビシギ								●							NT				VU	
69	ハマシギ				●										NT	VU					
70	ヘラシギ								●		国内								CR	EN	
71	タマシギ	タマシギ		●		●	●	●						CR	VU	EN	EN		NT	NT	

No.	目名	科名	種名	既存文献						重要な種の選定基準													
				①	②	③	④	⑤	⑥	1	2	3	4	5	6	7			8	9			
																越冬	繁殖	通過					
72		カモメ	ユリカモメ			●																	
73			ズグロカモメ					●						VU	VU						CR		
74			ウミネコ			●	●																
75			カモメ			●																	
76			セグロカモメ			●																	
77			オオセグロカモメ			●										NT							
78			コアジサシ			●		●	●							VU			EN	VU	VU	CR	
79	タカ	ミサゴ	ミサゴ			●	●		●							NT		NT			繁殖:NT 越冬:VU		
80		タカ	ハチクマ						●							NT		VU	NT	NT	EN		
81			トビ		●	●	●														繁殖:CR 越冬:VU		
82			チュウヒ			●	●		●		国内					EN	VU	CR					
83			ハイイロチュウヒ			●				●							EN				VU		
84			ハイタカ			●	●			●						NT				NT	NT		
85			オオタカ				●	●	●	●						NT	NT	NT		NT	VU		
86			サシバ		●		●	●	●	●						指定	VU		EN	NT	NT	EN	
87			ノスリ			●	●																
88			オオノスリ			●																	
89	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク		●												NT	VU		DD	DD		
90			フクロウ				●											NT	NT		NT	NT	
91			アオバズク		●		●												EN	VU	NT	VU	
92			コミミズク			●			●										VU			NT	
93	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン				●												VU	NT	NT	VU	
94			カワセミ	●	●	●	●																
95		ブッポウソウ	ブッポウソウ						●							EN		EN	VU	CR+EN	DD		
96	キツツキ	キツツキ	アリスイ			●																	
97			コガラ		●	●	●																
98			アカガラ			●	●																
99			アオガラ		●		●																
100	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ			●	●																
101			コチョウゲンボウ			●		●													EN		
102			ハヤブサ			●	●	●	●		国内						VU	NT	VU		NT	繁殖:CR 越冬:EN	
103	インコ	インコ	セキセイインコ			●																	
104			ワカケホンセイインコ		●																		
105	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ		●		●									VU				NT	VU		
106			カササギヒタキ	サンコウチョウ		●		●												NT	NT		
107		モズ	モズ		●	●	●																
108		カラス	カケス		●	●	●																
109			ハシボソガラス		●	●	●																
110			ハシブトガラス		●	●	●																
111			キクイタダキ	キクイタダキ						●												VU	
112		シジュウカラ	ヤマガラ		●		●																
113			ヒガラ				●																
114			シジュウカラ		●	●	●																
115		ヒバリ	ヒバリ		●	●	●																
116			ツバメ		●	●	●																
117			コシアカツバメ		●		●																
118			イワツバメ				●																
119			ヒヨドリ	ヒヨドリ		●	●	●															
120		ウグイス	ウグイス		●	●	●																
121			ヤブサメ		●		●																
122		エナガ	エナガ		●	●	●																
123		ムシクイ	センダイムシクイ				●		●												NT	NT	
124		チメドリ	ソウシチョウ				●																
125		メジロ	メジロ		●	●	●																
126		ヨシキリ	オオヨシキリ		●		●																
127		セッカ	セッカ		●	●	●																
128		ミソサザイ	ミソサザイ				●												NT				
129		ムクドリ	ムクドリ		●	●	●																
130		カワガラス	カワガラス		●		●											VU	VU				
131			トラツグミ		●																DD		
132			クロツグミ		●		●		●													NT	
133			シロハラ				●																
134			ツグミ			●																	
135			ジョウビタキ			●																	
136			イソヒヨドリ				●																
137			コサメビタキ		●		●													NT		NT	DD
138			キビタキ		●		●																NT
139	オジロビタキ				●																		
140			オオルリ		●		●																
141	スズメ		スズメ		●	●	●																
142	カエデ		ベニスズメ		●	●																	
143			ギンバラ			●																	
144		ヘキチョウ			●																		

No.	目名	科名	種名	既存文献						重要な種の選定基準											
				①	②	③	④	⑤	⑥	1	2	3	4	5	6	7			8	9	
																越冬	繁殖	通過			
145		セキレイ	キセキレイ		●	●	●														
146			ハクセキレイ			●	●														
147			セグロセキレイ		●	●	●														
148			ビンズイ			●												EX			
149			タヒバリ			●															
150		アトリ	アトリ			●															
151			カワラヒワ		●	●	●														
152			マヒワ				●														
153			ベニマシコ			●															
154			ウソ			●															
155		イカル	シメ			●															
156			イカル		●	●	●														
157			ホオジロ		●	●	●														
158			ホオアカ			●											CR		NT		
159			カシラダカ			●															
160		ミヤマホオジロ	ミヤマホオジロ			●															
161	アオジ				●																
162	コジュリン				●									VU	VU						
163	オオジュリン				●																
計	18目		49科	163種	1種	67種	107種	89種	7種	32種	0種	3種	0種	0種	2種	28種	23種	29種	16種	26種	46種

注1) 既存文献は以下のとおりである。

- ①「すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）
- ②「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書（鳥類）」（昭和55年、環境庁）
- ③「第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 鳥類」（昭和63年、環境庁）
- ④「自然環境保全基礎調査 全国鳥類繁殖分布調査報告 日本の鳥の今を描こう 2016～2021年」（令和3年10月、環境省）
- ⑤「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版-」（平成22年、岐阜県）
- ⑥「三重県レッドデータブック2015」（平成27年3月、三重県）

注2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

1. 「文化財保護法」等に基づく天然記念物
2. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づく国際・国内希少野生動植物
国内：国内希少野生動植物
3. 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」に基づく指定希少野生動植物種
4. 「岐阜県希少野生生物保護条例」に基づく指定希少野生生物
5. 「三重県自然環境保全条例」に基づく指定希少野生動植物種
指定：指定希少野生動植物種
6. 「環境省レッドリスト2020の公表について」（令和2年3月、環境省）掲載種
7. 「レッドデータブックあいち2020」（令和2年3月、愛知県）掲載種
EX：絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA 類、EN：絶滅危惧ⅠB 類、VU：絶滅危惧Ⅱ 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
8. 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版-岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版-」（平成22年、岐阜県）掲載種
CR+EN：絶滅危惧Ⅰ 類、VU：絶滅危惧Ⅱ 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
9. 「三重県レッドデータブック2015」（平成27年3月、三重県）掲載種
CR：絶滅危惧ⅠA 類、EN：絶滅危惧ⅠB 類、VU：絶滅危惧Ⅱ 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

野鳥園の鳥（令和5年1月から6月）

[illegible]

[illegible]

各ルート帯が通過する検討対象の地点数・面積

計画段階配慮事項	検討対象		単位	案①	案②	案③
自動車の走行による大気質	集落・市街地の位置	人口集中地区（DID）	面積 (km ²)	8.5	4.8	8.6
自動車の走行による騒音						
道路の存在による動物	動物の重要な種	動物の重要な種	箇所数	5	4	4
		天然記念物		1	1	1
		注目すべき生息地		1	1	1
道路の存在による植物	重要な種・群落の生育地等	特定植物群落	箇所数	1	0	0
		巨樹・巨木林		22	23	43
		天然記念物		9	5	10
道路の存在による生態系	生態系の保全上重要であって、まとめて存在する自然環境	自然公園	面積 (km ²)	49.4	144.8	144.8
		自然環境保全地域		1.9	0.0	0.0
		鳥獣保護区		115.4	115.4	115.4
		重要湿地		0.0	0.0	0.0
道路の存在による景観	景観の保全上重要な箇所	主要な眺望点、 景観資源	箇所数	11	4	9